

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-127	高等学校	商業科	簿記	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
234TAC	234-902	簿記 新訂版		

1. 編修の基本方針

- (1) 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、基礎から応用へと段階的に学習を進めることができるように編や章を設定・配置した。また、各章冒頭にその章で学習する内容をカラーイラストと短文で記載し、より深い理解を得られるようにした。
(第1号)
また、そのイラストにおいては、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるという観点から、男女の社員が協力し合いながら業務を進めている様子を示した。(第3号)
- (2) 職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、より実務に配慮した取引例を通じて学習が進められるような例題を設定するとともに、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、取引内容についてより深い理解が得られるよう、解説部分にカラーイラストや図解を取り入れるとともに、仕訳の下には仕訳作成の思考プロセスを示すことにより、考え、理解しながら仕訳を学習できるようにした。
(第1号、第2号)
- (3) 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、基本的な用語について英語表記を行っている。(第5号)
- (4) 自主及び自律の精神を養うという観点から、例題を中心に、章末の取引まとめ、ミニテストまでの内容をつなげ、主体的に学習が進められるよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、簿記一巡の流れについて図解で示すとともに、勘定科目一覧表を示した。 (第1号)	口絵1～2ページ 口絵5～6ページ
	職業及び生活との関連を重視するという観点から、小切手・手形のサンプルや、納品書や領収書等、証ひょうのサンプルを示した。(第2号)	口絵3ページ 口絵4ページ
綴じ込み	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、複式簿記の仕組みにつき、実感をもって理解できるように、帳簿による簿記一巡の流れを示した。(第1号)	綴じ込み1～8
学習のまえに	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うという観点から、世界経済の現状と、未来のために貢献する必要性、本書の学習を通じて、その一員として活躍することに対する期待について記述した。(第3号)	まえづけ《2》 ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点か	まえづけ《2》

	ら、本書の構成を示すことで、主体的な学習ができるよう、配慮した。(第2号)	《3》ページ
第1編 簿記の基礎	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、簿記の基礎と簿記一巡の流れについて記述した。あわせて、数字の流れや帳簿やの記入方法について理解を深めるため、図解で示した。(第1号)	1～84ページ
第1章 簿記の基礎		
第2章 資産・負債・純資産(資本)と貸借対照表		
第3章 収益・費用と損益計算書	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、精算表の仕組み、振り替えの手続きにつき、囲み記事「プラスα特別講義」として、本文と合わせ読むことでより深い理解が得られるようにした。(第1号)	62ページ 70ページ
第4章 取引と勘定		
第5章 仕訳と転記		
第6章 仕訳帳と総勘定元帳		
第7章 試算表の作成	伝統と文化を尊重するという観点から、簿記の歴史を紹介した。(第5号)	4ページ
第8章 精算表	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、分課制度と帳簿組織について記述している。(第2号)	83ページ
第9章 決算	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	7, 15, 21, 35, 41, 51, 57, 63, 79- 80, 84ページ
第10章 会計帳簿		
第2編 取引の記帳(その1)	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、取引の記帳についての基礎的な内容を記述した。あわせて、数字の流れや帳簿やの記入方法について理解を深めるため、図解で示した。また、仕訳から転記の流れの理解を深めるため、その都度両者をあわせて掲載した。(第1号)	85～154ページ
第11章 現金と預金の取引(その1)		
第12章 商品売買の取引		
第13章 掛け取引		
第14章 その他の債権・債務(その1)	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、自主及び自律の精神を養うという観点から、仕訳の下に逐一仕訳の思考回路を示し、学習者の理解を深めるとともに、自主的な学習を進めやすいように配慮した。(第1号、第2号)	85～154ページ
第15章 固定資産の取引(その1)		
第16章 販売費及び一般管理費	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	100-102, 115- 117, 126- 127, 142- 146, 150, 154 ページ
第3編 決算(その1)	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、決算についての基礎的な内容を記述した。あわせて、数字の流れや帳簿の記入方法について理解を深めるため、図解で示した。また、仕訳から転記の流れの理解を深めるため、その都度両者をあわせて掲載した。(第1号)	155～188ページ
第17章 決算整理(その1)		
第18章 8桁精算表		
第19章 帳簿決算	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、自主及び自律の精神を養うという観点から、精算表における数字の流れを示し、学習者の理解を	170～175ページ

	深めるとともに、自主的な学習を進めやすいように配慮した。(第1号、第2号)	
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	167-168, 176, 186-188 ページ
第4編 伝票と会計ソフトウェア	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、伝票と会計ソフトウェアについて記述した。あわせて、数字の流れや帳簿の記入方法について理解を深めるため、図解で示した。(第1号)	189～214ページ
第20章 伝票式会計と会計ソフトウェア	職業及び生活との関連を重視するという観点から、伝票のひながたと記載例、会計ソフトウェアの流れと記載例を掲載した。(第2号)	192～195、204～211ページ
	環境の保全に寄与するという観点から、会計ソフトウェアについて掲載し、ペーパーレスによる環境保護について考えられるようにした。(第4号)	201～211ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、章末に例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	212～214ページ
第5編 取引の記帳(その2)	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、第2編で学んだ日常の取引において、さらに進んだ内容について記述した。(第1号)	215～296ページ
第21章 現金と預金の取引(その2)		
第22章 その他の債権・債務(その2)	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、職業及び生活との関連を重視するという観点から、クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務について、発展学習として掲載した。その際、それぞれの仕組みのイラストを掲載し学習者のスムーズな理解につながるよう、心がけた。(第1号、第2号)	227～232ページ
第23章 手形		
第24章 特殊な手形の取引		
第25章 有価証券		
第26章 固定資産の取引(その2)		
第27章 純資産(資本)の取引と事業主個人の税金		
第28章 個人企業の税金	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、個人と企業における税金について記述した。(第2号)	281～296ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	225-226, 234-236, 247-249, 264-269, 275-276, 280, 287-288ページ
第6編 決算(その2)	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、第3編で学んだ決算において、さらに進んだ内容について記述した。(第1号)	297～332ページ
第29章 決算整理(その2)		
第30章 精算表と財務諸表の作成	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。(第2号)	317-321, 332 ページ

第7編 本支店会計 第31章 本支店会計－本支店間の取引 第32章 本支店会計－合併財務諸表	幅広い知識と教養を身に付けるという観点から、本支店会計のうち、支店が独立している場合の本支店間の取引や、合併財務諸表について記述した。（第1号）	333～348ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。（第2号）	342-343, 348ページ
発展 株式会社の取引 第33章 株式会社の会計処理 第34章 株式会社の税金	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点と、職業及び生活との関連を重視するという観点から、株式会社の取引について、発展学習として掲載した。その際、それぞれの仕組みのイラストや、補足説明を側注の吹き出しに掲載し、学習者のスムーズな理解につながるよう、心がけた。（第1号、第2号）	349～369ページ
	自主及び自律の精神を養うという観点から、各章末に学習のまとめと、例題と連動したミニテストを掲載し、主体的に学習を進めやすいよう配慮している。（第2号）	361-363, 368-369ページ
総合的な記帳問題	自主及び自律の精神を養うという観点から、第1編～第3編までの学習に対応した演習問題を掲載し、主体的な学習に資するものとした。（第2号）	370～374ページ
会計英語一覧表	他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、本文にも掲載のある会計英語について巻末に一覧でまとめ、（第4号）	380～381ページ
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、補足事項を側注の吹き出しに掲載し、多角的に理解できるようにした。 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんだ我が国と郷土を愛する態度を養うという観点から、各編の色づかいにつき、日本の伝統色に配慮して選択するとともに、日常の取引はオレンジ系、決算は黄緑系と、学習内容に応じた色選択をした。 ・植物油インキを使用し、環境に配慮した。		

（備考） 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定合格後に提出する際に記入する。

2 「編修の基本方針」欄には、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために編修の基本方針とした点を記入する。

3 「対照表」欄には、図書の構成・内容と教育基本法第2条各号に示す教育の目標との対照について記入する。詳細は次のとおりとする。

① 「特に意を用いた点や特色」欄には、教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、図書の構成や内容において編修上特に意を用いた点や特色について記入する。その際、教育基本法第2条各号のうち、特に関連が深いものを文末に示す。（例：第○号）

② 「該当箇所」欄には、上記内容に対応する具体的な箇所が分かるように、主な該当箇所のページ（例：○ページ）を記入する。

③ 必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。

4 「上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色」欄には、上記の記載事項以外に、教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標、学校教育法第51条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修上特に意を用いた点や特色などがあれば記入する。

- 5 「編修の基本方針」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。
- 6 別紙様式第5－1号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-127	高等学校	商業科	簿記	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
234TAC	234-902	簿記 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

実社会における企業で何が行われているのを把握し、日常の取引の記録から財務諸表の作成までを適正に行う力を養成するという観点から、以下のような工夫を施して編修している。

○第1編では「簿記の一連の流れ」を学習し、第2編から第4編では基礎的な内容について、第5編以降は応用的な内容について掲載し、段階的に簿記の知識を身に付けられるようにした。特に、「取引の記帳」については第2編で基礎的な内容を、第5編で進んだ内容を、「決算」については、第1編で決算整理事項のないものを、第3編で売上原価の計算など基礎的なものを、第6編で費用と収益の繰り延べ・見越しなどさらに進んだ内容を学習できるようにしている。なお、学習内容に応じた章カラーを用い、学習の際、今どういった内容を学んでいるのかが視覚的にわかるようにしている。またこれらのカラーは、冒頭の綴じ込みの「簿記一巡の流れ（帳簿）」とも連動させている。

○各章の冒頭では、これから何を学習するのかという導入部分につき、2コマイラストと文章で解説を加えた。その際、すでに学習した内容との関わりもあわせて解説することで、その都度知識の整理がはかれるようにした。

○「取引の記帳」を学習する際、取引状況のイラストを随所にいれることで、学習者にその状況がイメージしやすいようにした。

○仕訳の解説にあたっては、仕訳作成の思考プロセスを入れることにより、丸暗記にならない学習が進められるようにした。あわせて勘定も掲載することで、仕訳からの転記の学習がスムーズに進むようにした。

○帳簿や財務諸表類を解説する際には、図解化するとともに、金額の流れについて矢印などで、学習者が容易に理解できるようにした。

○間違いやすい箇所や重要なポイントについては、側注の吹き出しや囲み記事により、別角度からの解説を加えた。また、書籍内であわせて読むと理解が深まる箇所については、当該箇所を明示することで学習に役立てられるようにした。

○例題を中心に、章末の取引まとめ、ミニテスト、巻末の総合的な記帳問題までの内容をつなげ、これらを利用して反復的に学習することで、学習内容の定着が図れるようにした。

○冒頭の見返しや口絵には、手形・小切手・証ひょう類のサンプルを掲載し、企業における実感をイメージしやすいようにしている。

○基本的な用語について英語表記を行うとともに巻末にまとめを掲載し、国際的な会計プロフェッショナルとしてのスキルを向上させる第一歩となるようにしている。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 簿記の基礎	(1) 簿記の原理	1～84ページ	
第1章 簿記の基礎	ア 簿記の概要		2
第2章 資産・負債・純資産（資本）と貸	イ 簿記一巡の手続 ウ 会計帳簿		4

借対照表			
第3章 収益・費用と損益計算書			2
第4章 取引と勘定			4
第5章 仕訳と転記			3
第6章 仕訳帳と総勘定元帳			4
第7章 試算表の作成			2
第8章 精算表			2
第9章 決算			5
第10章 会計帳簿			2
第2編 取引の記帳（その1） 第11章 現金と預金の取引（その1） 第12章 商品売買の取引 第13章 掛け取引 第14章 その他の債権・債務（その1） 第15章 固定資産の取引（その1） 第16章 販売費及び一般管理費	(2) 取引の記帳 ア 現金と預金 イ 債権・債務と有価証券 ウ 商品売買 エ 販売費と一般管理費 オ 固定資産	85～154ページ	3 5 3 4 1 1
第3編 決算（その1） 第17章 決算整理（その1） 第18章 8桁精算表 第19章 帳簿決算	(3) 決算 ア 決算整理 イ 財務諸表作成の基礎	155～188ページ	6 3 3
第4編 伝票と会計ソフトウェア 第20章 伝票式会計と会計ソフトウェア	(5) 記帳の効率化 ア 伝票の利用 イ 会計ソフトウェアの活用	189～214ページ	3
第5編 取引の記帳（その2） 第21章 現金と預金の取引（その2） 第22章 その他の債権・債務（その2） 第23章 手形 第24章 特殊な手形の取引 第25章 有価証券	(2) 取引の記帳 ※上記の発展的内容	215～296ページ	2 3 4 3 2

第26章 固定資産の取引（その2）			1
第27章 純資産（資本）の取引と事業主個人の税金	(2) 取引の記帳 カ 個人企業の純資産と税		3
第28章 個人企業の税金			1
第6編 決算（その2）	(3) 決算	297～332ページ	
第29章 決算整理（その2）	※上記の発展的内容		4
第30章 精算表と財務諸表の作成			5
第7編 本支店会計	(4) 本支店会計	333～348ページ	
第31章 本支店会計－本支店間の取引	ア 本店・支店間取引と支店間取引		3
第32章 本支店会計－合併財務諸表	イ 財務諸表の合併		3
発展 株式会社の取引	(2) 取引の記帳	349～369ページ	
第33章 株式会社の会計処理	(3) 決算		6
第34章 株式会社の税金	※上記の発展的内容		3
		計	105

（備考） 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定合格後に提出する際に記入する。

2 「編修上特に意を用いた点や特色」欄には、学習指導要領の総則に示す教育の方針や当該教科の目標を達成するため、編修上特に意を用いた点や特色を記入する。

3 「対照表」欄には、図書の構成・内容と学習指導要領に示す「内容」の各事項との対照について、「内容の取扱い」も踏まえて記入する。その際、「該当箇所」欄に、申請図書の該当箇所のページ（例：〇～〇ページ）を記入する。また、必要に応じ、例で示している様式を参考にして、「対照表」欄を適宜工夫して作成しても差し支えない。

4 「配当時数」欄には、申請図書で予定している配当授業時数を示すこと。なお、配当授業時数の記載が必要な教科、種目については空欄でよい。

5 「編修上特に意を用いた点や特色」欄以下の外枠線は、記入しなくても差し支えない。

6 別紙様式第5－2号の分量は5ページ以内とする。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-127	高等学校	商業科	簿記	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
234TAC	234-902	簿記 新訂版		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
227～229 ページ	クレジット売掛金	1	「財務会計Ⅰ」 (2) 会計処理 ア 資産と負債	2.75
229～232 ページ	電子記録債権・電子記録債務	1	「財務会計Ⅰ」 (2) 会計処理 ア 資産と負債	3.25
349～369 ページ	株式会社会計	1	「財務会計Ⅰ」 (1) 財務会計の概要 ア 企業会計と財務会計の意義・役割 「財務会計Ⅰ」 (2) 会計処理 イ 純資産 エ 税	21
合 計				27

- (備考) 1 ※欄は検定申請時には記入せず、検定決定後に提出する際に記入する。
- 2 「ページ」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述の掲載ページを示す。
- 3 「記述」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述に付された表題等を示す。
- 4 「類型」欄には、申請図書における発展的な学習内容の記述について、以下の分類により該当する記号を記入する。
- ・ 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容…… 1
 - ・ 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容…… 2
- 5 「関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項」欄には、当該学年等の学習指導要領の内容や内容の取扱いに示すどの事項と関連があるのか分かるように記入する。
- 6 「ページ数」欄には、発展的な学習内容の記述が掲載されているページ数を記入する。ページの数え方は以下のとおりとする。「合計」欄には発展的な学習内容の記述の合計ページ数を記入する。
- ・ 0. 25ページ以下… 0. 25ページ
 - ・ 0. 25ページを超えて0. 5ページ以下… 0. 5ページ
 - ・ 0. 5ページを超えて0. 75ページ以下… 0. 75ページ
 - ・ 0. 75ページを超えて1ページ以下… 1ページ
- 7 別紙様式第5－3号の分量は2ページ以内とする。